
IS <インフィニット・ストラトス> テンプレ転生者が逝く！

時雨-トキアメ-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS > インフィニット・ストラトス< テンプレ転生者が逝く！

【Nコード】

N3410BA

【作者名】

時雨・トキアメ・

【あらすじ】

ある日俺は死んだ。しかし、それは神が寝てたせい？その湮で死んだ？超テンプレ乙。転生する世界は・・・IS？そんじゃ、気軽に第二の人生、歩んでいきますか！

作「こんな超テンプレ小説ですが、よろしくおねがいします。」

P r o l o g u e 転生者が逝った。 (前書き)

処女作ですので、あしからず。

P r o l o g u e 転生者が逝った。

S i d e ???

何も・・・見えない。

何の・・・音もしない。

いるのは自分だけ？

目は開けているはずなのに。

耳はあるのに。

ここは・・・どこだ？

俺は・・・俺は・・・

俺は誰だ？

頭が痛い。なぜか、思い出すことをまるで拒絶しているかのようだ。

っ！？なんだ！？急に光に包まれた！？

ああ・・・なんだか・・・夢が覚めるようだ・・・

S i d e 神

Z z z・・・Z z z・・・

「神様！起きてください！1日に何時間寝るんですか！」

ハッ！？・・・なんだまだ2時間しかたってないじゃないか。（天界での1時間は地上での1日）

もっかい寝よ・・・Z z z・・・

「起きろ」

スパアン！

「痛てえじゃねえ・・・か・・・。。アレ？最高神サマ？」

「減給」

「嘘だあああああああああああ！」

どうやら仕事中に寝てたらしい。

さっき最高神様が起こさなかったら後1時間くらい寝てたかもしれないー。

さて、書類整理してくる・・・か・・・あ。

あれ？書類漚でぐっちゃぐちゃだよ？あれ？

「お前の漚で1人の人間の命がヤバイ」

まじすか？まあいいか。どうせモブだろ？モブ。

「とっているだろうが、その人間はのちに月へのエレベーター作る大天才だったぞ」

・・・・・・え？けっこう重罪？俺。

「そいつには申し訳ないからお前が土下座してからどっかの平行世界に転生でもさせておけ。あと減給。」

2度と仕事中に寝ないと誓った俺だった。

S i d e ? ? ?

夢から覚めて、目をあけると

「すみませんでしたあああああああああああ！」

土下座して謝ってるじじいがいた。

「え？ちよ、なにやってるんですか！？」と、とりあえず顔をあげて
ください！」

なんかこのじじいに殺された。

とりあえず、ちゃんと謝れてないから・・・

「ああん？」

「ひい！す、すみませんでした！」

よし。合格。

「はあ。んで？なんで俺死んでんの？」

「あー、そのーですね・・・」

「ああ？」

「自分が涎をあなたの寿命の書類に垂らして殺してしまいました
てへっ」

コイツ・・・

「とりあえず、俺が死んだのはお前のせいでいいんだな？死因は？」

「これからあなたの記憶を映像化して見てみる予定です。」

ほう。じゃあ回想。

S i d e 前世の俺

俺の名前は風斬優斗。

今は学校にいるんだが、正直言って楽すぎる。

お、もうすこしで終わるな。

キン コーン カーン コーン

あー。やっと授業終わったよ。

あ、そういやISの発売日今日じゃん。帰りに買っていくか。

移動中

ふう。なんとか買えたな。なんか書店にめっちゃ変な液体あったけど。

さて、家に帰るか。

あれ？あのガキ、なに車道で突っ立ってんだ？

て、おい！車来てんぞ！

「おい！何突っ立ってやがる！」

ドンッ

はあ、どうやらガキは助けられたようだ。俺が犠牲になって・・・。

あーあ。まだIS見てないのに。

あ、あの論文書きかけじゃん。

はあ。俺の人生後悔だらけだよちくしょー

ガンッ！

めのまえが まっくらになった！

S i d e 風斬優斗

お。名前は思い出せたようだ。

どうやら俺の死因はガキを庇って車に轢かれて死んだようだ。

まともな死にかたでまだよかったわ。

窒息死とかだったら洒落にならなかったわ。

「で？俺はこれからどうなの？」

テンプレ通り転生？

「その通りです。」

え？俺声に出してないよね？

「あ、すいませんね。勝手に心を読んで。で、ですね。特典を付けてあなたは転生させます。」

超テンプレ！

「おれはどこの世界に転生するんだ？」

「ああ、そうですね。ISの世界です。」

IS？まじか。

「んじゃあまずはISを動かせるようにしてくれ。それと、剣の才能をくれ。」

「剣の才能・・・ですか？どんな才能を？」

「んーじゃあFFのセフィロスと同じ剣の才能を。」

「はいはい。ほかには？」

んー悩むね。じゃああれかな？

「じゃあ、ISを作らせてくれ。あと瞬間記憶能力をくれ。」

ISの中にモンハンの武器いれたいなあ。

「ほいほい。んじゃあこつちきてください」

どうやらISを作れるようだ。

さて、どんなISにしようか。

装備は、モンハンの太刀と短剣にしようかな。出来るだけ多くの拡張領域（バススロット）を空けとかないと。

防具は・・・衣みたいなのでいいか。耐熱性の。

太刀が当たらないと意味ないから機動力重視のISにしよう。

3カ月後

出来たぜい。これが俺のIS『片翼』だ。起動するとちゃんと翼もでる。半分だけど。後、白いけど。

あとはこれを待機状態にして・・・っと。

「神ーできたぞー」

「はあ、よくこんな接近戦オンリーなISで戦おうと思いますね。あれですか？一夏に憧れでもあるんですか？」

一夏？ああ、一夏ね。もげろ。

「んじゃあ、そろそろ転生してくるわ。」

「そうですか。それでは。」

・・・っと。後ろのドアからどうぞ。」

後ろを見ると白いドアがでて来ていた。これから始まるのか。

「じゃあなじじい。世話になったな。」

「いえいえ、それではまた、縁があったら、またお会いしましょう。」

いいじじいだっとな・・・。

ガチャッ

あれ？地面がないよ？

[illegible]

「ハハハハハハハ！ やられたことはやりかえす！ それが俺クオリティ！」

「覚えてるよおおおおおおおおおおお おおおお・・・」

また会ったら生きること後悔させてやる！

主人公設定

主人公 風斬優斗（ ） 16歳

寝ていた神の涎で殺されたかわいそうな人。

前世では月へのエレベーターの論文を書いていた天才。

前回扉を開けたら地面がなかったでござるで落下する。

両親はいない。しかし、ATMに金があった。（超ご都合主義）

原作のキャラ達に面識はない。

神から転生する時に能力をもらった。

1 I S が動かせるようにする。

2 剣の才能をもらった。（FFのセフィロスなど、剣を使うキャラと同じ技が出せる。虚空とか。）

3 瞬間記憶能力をもらった。

4 I S を作れる。（けど、これ以上作る気はない。）

IS名：片翼

言わずと知れたセフィロスの2つ名のこと。（天使を入れるとなんか合わない。）

普段は羽の形をしたペンダントになってる。

起動すると、背中からスラスターの代わりに白い翼が出る。

片方だけでも飛べる。でも武器を一つに封印するか、シールドエネルギーを200減らすと複数枚展開できる。

<武器>

太刀

王牙刀【伏雷】 モンハンMHP3より。雷属性の太刀と言ったらこれだね。当て続けると麻痺る。

リーチ 中 雷属性 振りの速さ 普通 【50】

凶刀【催花雨】 こちらもMHP3より。嵐龍アマツマガツチの剣。基本これで戦う。

リーチ 短〜中 水属性 振りの速さ やや早い 【60】

天上天下天地無双刀 MHP2Gより。攻撃力NO.2（NO.1は砂猿薙【ゴゴゴ】。会心率・20%）の刀。最強にふさわしい。

リーチ 短 無属性 振りの速さ やや

遅い 【100】

飛竜刀【椿】 MHP2Gより。リオレウス希少種の武器。銀色で
かっこいい。

リーチ 中 火属性 振りの速さ 普通 【
80】

片翼の天使 FFDより。セフィロスの最強武器。ゲーム内では
剣の外見が変わってないので、あの長い剣とする。

リーチ 中〜遠 無属性 振りの速さ やや早い
EXモード中は強制的にこれになる。 【100】

短剣

劉家之剣 MSより。53Lv装備。でもISにLvとかない。

リーチ 短 振りの速さ 最速 【60】

投げナイフ MHより。短剣が複数出てきて投げられる。

リーチ 遠 速さ 100km/h 1本作るの
にS・E10必要 【20】

マインゴージュ 相手の攻撃を逸らす。攻撃には使えない。

リーチ 短 【0】

アーチ エルシャダイより。攻撃剣で使わず、ビーム兵器からの防
御剣として使う。

ただし、展開時とした後毎秒10ずつS・Eを喰うのでさ
つさと違う剣を展開するのが理想。

一応斬ることはできるが、攻撃力は低い。つまようじ（笑）

リーチ 短 聖属性 【10】

シールドエネルギー量：700（500）

S・Eを200減らすことで翼を複数枚展開できる。

単一仕様能力：EXモード

通常より早く動けて、早く剣を振りぬけるようになる。（例：虚空が8HITから16HITに）

八刀一閃や獄門、天照などをこの状態にあてると、ガードクラッシュする。

この機体が他のISと違う点

1 当たっただけでは相手のS・Eを減らすことができない。その代わりに、剣に相手に与えたS・E分の攻撃力が与えられる。

2 蓄えた剣の攻撃力を開放させるには、特別な技（八刀一閃、天照、獄門、鬼人斬りなど）を当てる必要がある。

3 特別な技を使った後、剣の攻撃力は元の攻撃力に戻る。（武器名の横の【】の中の数字）

4 この機体は、反重力なんかとかそういうので浮いているのではなく、FFDDのアビリティのマルチフリーエアダッシュで動いたり、浮いていたりしている。

主人公設定（後書き）

主人公のプロフィールです。

最初F F D Dのシステムをどのように組み込もうと思いましたが、結果このような形になりました。

一応F F D Dのセフィロスの技

- ・ なぎ払い
- ・ 刹那（切り上げ）
- ・ 縮地
- ・ 居合切り
- ・ 神速
- ・ 虚空
- ・ シャドウフレア
- ・ 八刀一閃
- ・ 閃光
- ・ 天照
- ・ 獄門

この中で使うのは、

- ・ 縮地
- ・ 刹那
- ・ 虚空
- ・ 神速
- ・ 八刀一閃
- ・ 閃光
- ・ 天照
- ・ 獄門

です。

第一話 テンプレ転生者が落ちた。

前回のあらすじ

- ・俺、死んだ。
- ・神をボコボコにした。――（主従関係を結んだ）
- ・能力をもらった。
- ・神に仕返しされた。復讐してやる。

S i d e 風斬優斗

あのクソ神め……。下見たら一面海じゃねえか……。

ってかこの高さから落ちたら死ぬる。第二の人生始つてすぐ死ぬとか嫌だよ！？

なんかないか……。？なんか……。こう……。飛べるの……。あつ。

IS使えばいいんじゃない！（アラスカ条約のことをすっかり忘れています。）

そうと決まれば、さっそくISを起動させて……

「いい！『片翼』！」

バサッ！

「おおぅ……。なんか不思議な感じがするな……。片方の翼で飛んでるって。」

とある魔術の禁 目録のていとくんみたいなメルヘンヤローの気持ち
ちがわかる気がする。

「さて、飛べたはいいんだが、ここはどこだ？太平洋の真ん中だっ
たら泣けるなあ。ん？近くに学校みたいなのがあるな。ちよつと近
づいてみようか。何人かIS起動させてるし。」

善は急げっていうし。さっさと行くか。

Side 織斑一夏

「ではこれよりISの基本的な飛行操縦を実践してもらおう。織斑、

オルコット。試しに飛んでみせる。」

俺の名前は織斑一夏だ。なぜだか知らんが世界で唯一ISを動かせる男子・・・になってしまった。

俺は今日もこうして鬼教官こと千冬姉の授業を真面目に受けていた。

「早くしろ。熟練したIS操縦者は展開まで一秒とかからないぞ」

つといろいろ考えてたら展開してなかったか。展開するには集中して・・・

（来い、白式）

と、心の中で呟く。刹那、右手首から全身に薄い膜が広がっていくのがわかる。

約0・7秒か。まあ、そんなもんだらう。隣のセシリアはもうISを装備させて浮いている。

「よし、飛べ」

言われて、セシリアはすぐ急上昇し、遙か頭上で静止する。

俺も後に続くが、その上昇速度はセシリアよりかなり遅いものだった。

「何をやっている。スペック上の出力では白式の方が上だぞ」

そりゃあセシリアは代表候補生だ。ISの起動時間が俺と比べて天と地の差ほどある。

しかし、『自分の前方に角錐を展開させるイメージ』ってなんだよ。もう少しわかりやすくしてほしい。

「一夏さん、イメージは所詮イメージ。自分がやりやすい方法を模索する方が建設的ですよ」

「そう言われてもなあ。大体、空を飛ぶ感覚自体がまだあやふやなんだよ。なんで浮いてるんだ？これ」

飛行機と同じ原理では飛んでないらしいが……。大体、翼の向きと関係なく好きに飛べるんだから、ますます訳がわからない。

「説明しても構いませんが、長いですわよ？反重力力翼と流動波干涉の話になりますもの」

「わかった。説明はしてくれなくていい」

すぐさま断る。絶対俺の頭じゃ理解できない。

「そう、残念ですわ。ふふっ」

あの試合（決闘）以来から何かと理由をつけて俺のコーチを買って出る。それは非常にありがたいし、セシリアはさすがに代表候補生だけあって優秀だった。

しかし、いったいどうゆう心境の変化なんだ？あの時の態度とは全然違う。

「一夏さん、よろしければまた放課後に指導させてさしあげますわ。そのときは二人きりで」

「一夏っ！いつまでそんなところにいる！早く降りてこい！」

つと、筈から怒鳴り声が。横で山田先生がインカムをとられておたおたしていた。

「織斑、オルコット、急降下と完全停止をやってみせる。目標は地表から10センチだ」

「了解です。では一夏さん、お先に」

と言ってすぐさまセシリアは地上に向かう。

「うまいもんだなあ」

そしてどうやら完全停止も難なくクリアしたらしい。よし、俺も行くか。

意識を集中。背中の翼状の突起からロケットファイアーが噴出しているイメージを思い描く。

ギョッ
ズドオオンッ！

地上に”は”ついた。ただし、”墜落”という形で。

体はGや衝撃から守られているが、心が瀕死状態だった。できれば心も守ってほしかった。

「馬鹿者。誰が地上に激突しろといった。グラウンドに穴をあけてどうする」

「……すみません」

「お、織斑先生！織斑先生！」

ん？山田先生が急いで千冬姉のところに来た。どうしたんだ？

「すぐそこでISの反応が！」

「何！？だれがそんなことを！？」

「それが……登録されていないコアなんです……」

「ふむ……では私たちが調査をしに行こう」

「わかりました！では先生を集めてきます！」

……どうやら正体不明のISが海上に現れたようだ。

男だったら、いいなあ。

S i d e 風斬優斗

む、どうやらこのISに気づいたようだ。ひょっとしたらこのままIS学園に入学とか出来るかもしれないが・・・。

「とりあえず隠れるために近くの森に逃げるか」

ここで捕まってG o t o 刑務所とかは死ねる。故に俺は逃げる！

「おい、そのIS！ここで止まれ！」

アレ？もう来たんですか？

「ちょ、ちょっと待ってください！攻撃するつもりはありません！」

何あの剣。俺の剣と違って太すぎるだろ・・・

「では、なぜここでISを展開した？」

やべっなんて答えよう・・・空から落ちてきました。とか言ったら頭のおかしい人間かと思われる・・・

どうする？「マインド」

しんじつをつける

うそをまぜつつせつめいする

にげる

優斗は 逃げだした！

「逃がすか！」

しかし、まわりこまれてしまった！

「はぁ、わかりました。わかりましたからブレードを首に当てないでくださいめちゃくちゃ怖いです」

囲まれた瞬間に首にブレードをかけられた・・・

「ちょっとこのままだと説明できないんで、着陸してもいいですか？」

「ふむ・・・それくらいならいいだろう。ただし、しっかりと説明しろ」

よかった。ダメって言われてたらここでIS解除するしかなかった・・・。

「では、ついてこい」

「さて、貴様の望み通り着陸させてやったぞ。説明してもらおう。」

俺は話した。神によって殺されたこと。その代わりにこの世界にやってきたこと。そこでこのISをもらったこと。（噓）

「にわかには信じられない話なんだが……。まあ、いい。それで？このあとどうするんだ？」

「俺は……。そうですね。行くあてもないですね。」

「なら……。ここに入学すればいい」

は？こんな頭がおかしいと思われてる俺を入学させる？

「……。いいんですか？」

「ああ。特にもう一人の男は歓迎するだろう。」

そんなこんなで俺はIS学園に入学することが決まった。

T o b e c o n t i n u e d . . .

第一話 テンプレ転生者が落ちた。 (後書き)

長すぎたっ！無駄に長すぎたっ！

今回はテンプレ転生者が入学した。をお送りします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3410ba/>

IS <インフィニット・ストラトス> テンプレ転生者が逝く！

2012年1月9日23時53分発行